

もつと幸せ

以前、京都のお寺で聴いたお話。

ごはんが食べれたら幸せ

温かいごはんならもつと幸せ

眠れたら幸せ

布団の上ならもつと幸せ

この先にもつともつとが続いたお話だったのにまったく
思い出せない(笑)

そうだ！この先は自分で考えたらいいんだ！
幸せを探してみよう。

ごはんを食べた時、美味しいねと言える人がいたら
もつともつと幸せ

布団の上で朝目が覚めたらもつともつと幸せ

歩けたら幸せ

歩いて綺麗な景色が見れたらもつと幸せ

綺麗な景色と一緒に楽しむ友がいたらもつともつと幸せ

笑えたら幸せ

声を出して笑えたらもつと幸せ

顔を見て笑いあえたらもつともつと幸せ

こんな風に日常の中にもつともつとがあることに気付けたら：
出来ないことを数えるより出来ることを探してみたら、
いつの間にか幸せが溢れだしていました。



柴田由紀子

入会して思うこと

「ボランティアで身に付けるエプロンを縫ってくれない？」と、代表の柴田さんから頼まれた時に時間が無いからと断ったことがあります。でも、その時からずっと私の心の中からそのエプロンの件が消えることはありませんでした。

子どもたちも結婚して夫婦二人きりの暮らしをするようになりましたが、老後のことを考えたらまだまだ働かなくてははいけません。遊びに行ったり、美味しいものを食べたり、洋服を買ったりする一方で果たしてそれでいいんだろうかと考えるようになりました。自分の時間が持てるようになった今こそエプロンを縫えるんじゃないだろうか？

でも今はコロナ禍でエプロンを身に付けてのボランティア活動はしていなさそう。だったら、手縫いの会で少しでも役に立つことができればと思い、昨年の12月に初めて参加しました。

あっという間の2時間でした。雑巾を縫う人、布を葉書き大の大きさにカットする人、誰一人無駄話をしません。お喋りをする場ではないのだと思いました。参加している人みんなが同じ思いで同じ時間を共有する、とてもいい時間を過ごしました。

これからも時間の許す限り参加したいと思います。

よろしくお願いいたします。(加藤典子)





コロナ禍でお休みになり、すでに二年が過ぎました。



初めてみなさんの仲間に入れて頂いた時、ティーサービスに添える手作りのお菓子を作りました。シフォンケーキの大きさを決める時、ひと口サイズがいいと言われ患者さんへの思いを知りました。

食べれなくなってしまったことや残してしまう申し訳なさを感じないようにと小ささにこだわる優しさ。

「良かったらおかわりしてくださいね」と言葉も添えてお出ししていました。手作りのゼリーも市販よりかなり柔らかく作りました。

それでも食べたいのに食べれないと言われた 90 歳のおばあちゃんのために、仲間で話し合い 1 グラムずつゼラチンを減らし柔らかさを追求して「食べれたよ！美味しかったよ！」と言われた時の喜びは今も忘れません。

大切なことは、いつも患者さんの方向にボランティアの心が向いてること。

だから意見が分かれても話し合い、理解し合えるのだと思えました。（柴田由紀子）

“手縫い”の報告

岡崎市民病院・国際病院・施設などへ依頼された品を作り届ける。
第2月曜日 10:00～12:00 場所 カトリック岡崎教会



沈黙の中でしか聞こえぬ音がある

沈黙の中でしか感じぬ事がある

毎月第2月曜日 10 時、岡崎カトリック教会に一人またひとりと集まってくる。

みなさまから寄付していただいた着古した木綿の肌着Tシャツなどにハサミを入れる。

“ザクッ ザクッ ザクッ……”

時々換気のため窓を開ける。“ザアー”

100 枚ごとに束ねる。また“ザクッ ザクッ ザクッ……”

静けさの中で、気持ちいいハサミの音だけが聞こえてくる。

国際病院の緩和ケア病棟や施設では、この布をお湯で温め、おしりを拭いてくださるそうです。辛い病室でどれほど癒される一瞬だろう。

声かけしてくださる看護師さんやヘルパーさんのお姿を想像し、心があたたかくなる。

最近、手縫いには新しい人たちが入ってくださっている。会話をしないのでお互いに詳しい動機などは知らないはずだけれど「よかったねえ」「いい時間だったね」「ありがとう」と満足げな笑顔で去っていく。ずーっと前からの深い知り合いのような気持ちになる。

何も話さないのに？

隣の人がどんな人か知らないのに？

一緒に同じ時間を過ごすだけなのに？あの笑顔。

「ホスピスケアって、こういうことだ」と気づいたひとときです。（橋詰清子）

♥使い古した木綿の、肌着・シャツ・パジャマ・シーツ・ゆかた等がありましたらご寄付をお願いします。使い捨てのおしり拭きにします（勝川俊子 TEL0564-25-6961）



“つどい”の報告

患者・家族・遺族（誰もが遺族）の集まり

第3木曜日 10:00~12:00 社会福祉センター（第2活動B室）

1月2月3月は、コロナ感染者増加とまん延防止等、重点措置の適用もあり、お休みさせて頂きました。月1回の“つどい”ですが長引くコロナ禍にあってお休みさせて頂くことが多くなり本当に残念です。

コロナ禍で迎える3度目の春、暖かな春の訪れとともに、穏やかな日常が戻ってきますようにと願います。そしてこれからも“つどい”で過ごす時が、みなさんの大切な分かち合いの場所となれば・・・と思っています。

参加、お待ちしております。（神尾弘美）



※マスク 消毒 換気など感染対策を行っています

※緊急事態宣言の発令、まん延防止等重点措置の適用の場合は、お休みさせていただきます。

お二人の悲しいお知らせ



勉強会でお世話になりましたお坊さまの伊藤三学さんが2022年2月27日にお亡くなりになりました。毎朝3時に起きておかゆを作り、365日休みなく10年以上も東岡崎、橋の下、岡崎駅のホームレスの方々の支援に尽力されました炊き出しを終えたら駅のお掃除、お花を慰霊碑に捧げたり、炊き出しだけでなく、パンやお風呂券を配ったり、滞っていた年金や給付金の受給に付き添われ、自転車が欲しいと言われれば調達したり、服や靴なども支給されて、駅のホームレスさんは町内会のおじさんと見た目は変わらないほどでした。三学さん、ありがとうございました。（和田あい子）



前回の11月79号の通信で「乳癌の末期余命宣告、人生の賞味期限約2年弱」を投稿していただきました訪問看護師の松崎百合子さんが2022年1月5日にお亡くなりになりました。

ご自分の死期を悟って投稿し、最期まで誰かのためになりたいと生きてこられた人生でした。お母さまのお仕事を引き継がれたお嬢さまの中村かおるさんのお話によると、いつもの部屋のお布団で理想通りの死を迎えられたそうです。

また投稿をきっかけに、会員の方の在宅介護相談をされていたと聞いています。長い間、酸素を抱えながら勉強会に参加され、訪問看護師として会員の最期にも付き添って下さいました。ご霊前に献花させていただきました。（橋詰清子）



あとがき

今年度も皆さまに一度もお目にかかることもなく過ぎ去ろうとしています。こんな日常が来ようとは誰が想像してたでしょう。平和の祭典であるはずのパラリンピック開催中もロシアのウクライナへの侵攻は止まらず、それどころか原発への攻撃など日々激しさを増しています。目を背けたい日常がそこにあります。

一方日本ではコロナウイルス感染症「第6波」におけるまん延防止等重点措置が解除されて「ちょっとひと息」という所でしょうか。でもまだ油断はできません。待ちこがれた春はそこまできています。楽しみに待ちましょう。（竹田美枝子）

総会にかえて

運営委員一同

2021 年度も総会を開催できませんでしたので運営委員と会計監査のもと、以下の報告をさせていただくこととなりましたので宜しくご承認いただきますようお願い申し上げます。

2021 年度 活動報告

年間テーマ：「いい人生だったね」といつでも言えるように

1. つどい：日時＝第 3 木曜日 10:00～12:00 場所＝社会福祉センター
2. 手縫い：日時＝第 2 月曜日 10:00～12:00 場所＝カトリック岡崎教会
 - ・ 国際病院→清拭布（小）4000 枚
 - ・ 幸田の家→清拭布（大）750 枚
 - ・ 市民病院→アイスノンカバー（大）20 枚 アイスノンカバー（小）20 枚
 - ・ 尿パックカバー12 枚 ・ クッションカバー5 枚 ・ 点滴腕カバー20 枚
 - ・ 福祉の村そだちの家→バスタオル 8 枚 ・ タオル 39 枚
 - ・ 愛恵園→雑巾 30 枚

以上納めさせていただきました。

3. 勉強会：一度も集まることができず残念です。
4. 緩和ケア病棟ボランティア：中止でしたが橋本敦先生やコーディネーターの青山さんから緩和ケア病棟の現状を通信で報告いただきました。
5. 通信：78 号・79 号・80 号発行
6. 会計報告：別紙参照
7. 運営委員・会計監査

柴田由紀子（代表） 柴田睦（副代表） 神尾弘美（副代表） 土屋里香（会計）
勝川俊子（手縫い） 竹田美枝子（通信） 橋詰清子（通信）
会計監査 服部里美

2022 年度 活動計画案

年間テーマ：いつでもどんな時でも「いい人生だったね」と言えるような一日を過ごしたい

1. つどい：日時＝第 4 木曜日 10:00～12:00 1 階第 2 活動 B 室
♥5 月から第 3 木曜日→第 4 木曜日に変更
社会福祉センター（第 2 活動 B 室）
岡崎市美合町字五本松 68 番地 12
TEL0564-47-8751 FAX0564-47-8753



2. 手縫い：日時＝第 2 月曜日 10:00～12:00 場所＝カトリック岡崎教会
3. 勉強会：開催する時はお知らせします。
4. 緩和ケア病棟ボランティア：開催する時はお知らせします。
5. 通信：81 号（7 月）82 号（11 月）83 号（3 月）
6. 会計予算案：別紙参照

♥会費は集めません。今までのご寄付を大切にに使わせていただきます。

7. 運営委員・会計監査

柴田由紀子（代表） 柴田睦（副代表） 神尾弘美（副代表）
勝川俊子（手縫い） 竹田美枝子（会計） 橋詰清子（通信）
会計監査 服部里美

♥土屋里香さん、長い間会計の役割をしてくださりありがとうございました。